

長岡市栃尾 平地区の皆さん



長岡市栃尾地域の平地区にお住まいの皆さんからお集まりいただき、当時の状況をお話いただきました。

栃尾地域は守門岳のふもとに位置し、当時記録的な雨量を記録して甚大な被害を受けました（死者1名、住居の全壊3件、半壊2件、床上浸水72件、床下浸水444件など被害件数786件）。

しかし、栃尾地域に通ずるほとんどの道路は土砂崩れや冠水による交通止めで、一時的に孤立状態となり、その情報はあまり報道されませんでした。平地区は中でも被害の大きかった地域です。

会社では・・・

あの日はお昼前頃に会社から帰宅の指示がありました。ですが、**多くの地域が浸水し帰宅できない状況で、やっとの思いで家に帰ると床下浸水。玄関にはコイが泳いでいました。刈谷田川は溢れませんでした**が、堤防スレスレをすごい音と勢いで水が流れていました。

自宅では・・・

11:00頃だったと思いますが、消防団が来て「避難してください！」と言われました。公民館に避難しようとしたのですが、道路が川のような状態で避難できず、近くの建設会社に避難しました。**避難するときは泥水のため足元の状況が見えず、また流れがあるため「手をつないで足を引きずるように歩け！」と近所の人からアドバイスをもらいました。**

避難所では・・・

皆さん、着の身着のまま避難したのでほとんど何も持っていないようでした。それに刈谷田川だけでなくほとんどの川が氾濫し、土砂崩れも各地で発生したため、**通行可能な道路が限られ、公民館やデイサービスセンター、近くの建設会社など、とにかく非難できるところに行きました。**栃尾は川の水引が早かったと言われますが、それでも避難所に泊まった方は大勢いました。

片付けでは・・・

水が引いてからは、家の中にたまった泥出しに追われました。かき出してもかき出しても出てくる泥。泥臭い中での作業はかなり辛いものでした。最終的に土のう 300 袋ほどの泥をかき出しました。ボランティアの方々が手伝ってくださるという話もあったのですが、家の中にはプライベートな物もあったのでお願いしにくく、結局お願いしませんでした。

今になって思うこと・・・

栃尾には多くの用水路があります。それらについて先人はわざとカーブさせて水勢を弱めたり、遊水地を設けたりして洪水に対して様々な工夫を行ってきました。最近の圃場整備や水路・道路工事では、用水路をまっすぐにしてしまう傾向があります。しかし、水の道や水の逃げ場はよく考えなければならないことを痛感しました。先人の工夫をもっと考えるべきです。

避難するときは何も持たずに避難してしまいました。災害に対し日ごろからの備えが大切だとつくづく感じています。

水害後の災害・・・

水害から時間がたち災禍から立ち直りかけた頃でした。今度は地震です。先の大雨で崩れた場所以外でも多くの土砂崩れがおきました。私は地震がトラウマになってしまい今でも少しの揺れで恐怖を感じてしまいます。そして、その年の大雪。栃尾は水害、地震、大雪と3つの災害に立て続けにあってしまいました。

地すべりの被害にあった方は・・・

10:00 頃、自宅から職場に電話がありました。「家の前の道が川のようになっている。早く来てくれ」慌てて自宅に戻り、家族とともに裏山からの水の流れを変えるべく作業を始めようとすると、流れがかわったのか、流れていた水量が急に減り始めました。その頃に消防署が来て、避難勧告を告げられ、家族と近くの住民は避難しました。そのときでした。今度は家の裏に流れる川に、鉄砲水のように水と土砂が流れてきました。どうやら家の裏側にある3個のため池が決壊したようでした。写真を撮り、私も一旦避難しました。

14:00 頃だったでしょうか、今度は自宅の近所の住民から電話が入りました。「心配だから見に来たんだが、裏山が崩れてきた。とにかく来てくれ！」またも慌てて自宅へ向かうと、高さ30mほどの杉の木が自宅に寄りかかっていました。「地すべりか・・・。」咄嗟に思いました。家の中を確認しようと足を進めたときでした。「メキメキメキ！」大きな音を立て

て裏山が我が家に押し寄せてきました。私は逃げるだけで精一杯。山ごと崩れてきたのです。



ため池の決壊により発生したと推測される鉄砲水。



地すべり前。建設中の納屋の奥に家屋が見える。



地すべり後。家屋は土砂に押しつぶされた。



家は土砂に押しつぶされ、**全ての家財道具や貴重品が土砂の下敷き**。出てきた衣類などもほとんど捨てました。**ネクタイの束が太いうどんのようになっていたのを思い出します。それでも必死になって父が探したものがありました。位牌と過去帳です。**土砂崩れが発生してから2週間後、重機で片づけ中、位牌と過去帳をようやく土砂の中から発見することができました。

後日、近所の方から聞いたのですが、**地すべりが起きる数時間前に、蛇が木にぶら下がっていたのだそうです。**今思えば地すべりの前触れだったのでしょうか。

私の家の裏側では、今回の水害の約1年前に、沢を渡る国道橋が数年がかりで完成し、この工事に伴い近くの用水路の流れが変更されました。今回の大雨では、**その用水路が詰まって溢れた水が全て私の家のある沢に流れ込んできました。**低コストで工事を行うことは大切ですが、様々な影響を考えて工事を行うべきと強く感じています。今回の地すべりが夜中に発生していたら、私も家族もおそらく生きていなかったでしょう。

それから数ヵ月後、何とか新しい土地に家を建てられることになりました。しかし、明後日に建前を控えた日でした。突然「グラッグラッ!」と足元が揺れたかと思うと、立ってられないほどの激しい横揺れに襲われました。

水害がひと段落して、「これからだ」と気を張っていた矢先の地震でした。